



NS Solutions

# 2005年9月中間期 決算説明会

2005. 10. 31

代表取締役社長 鈴木 繁

新日鉄ソリューションズ株式会社

# 2005年9月中間期 連結決算ハイライト

(億円)

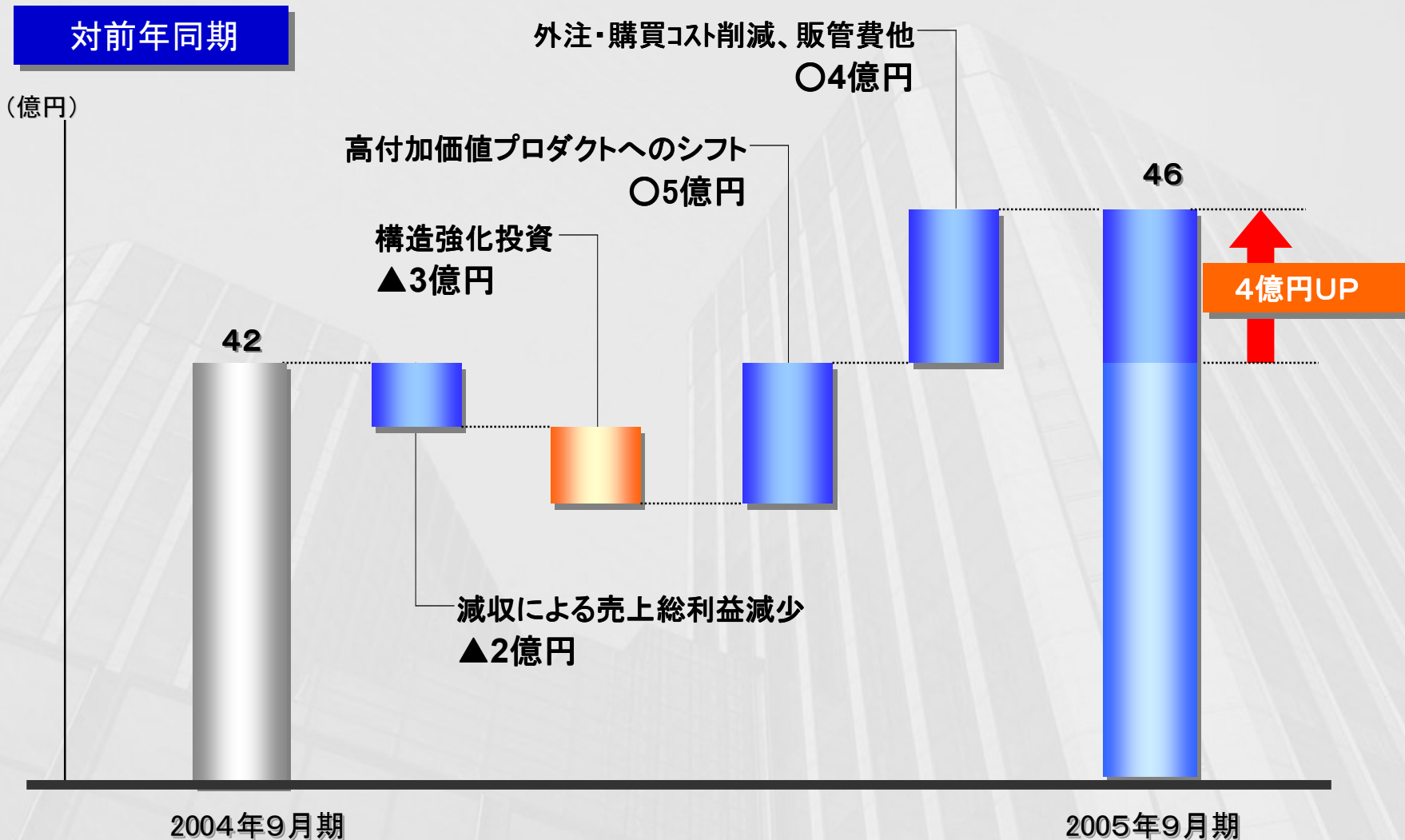
	2004/9期 (実績) A	2005/9期 (実績) B	対前年同期 差異 B-A	2005/9期 (前回公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	657	648	- 9	640	+ 8
業務ソリューション	334	336	+ 2	330	+ 6
基盤ソリューション	138	123	- 15	120	+ 3
ビジネスサービス	185	189	+ 4	190	- 1
売上総利益	129	134	+ 5	130	+ 4
<売上総利益率>	<19.6%>	<20.7%>	<+ 1.1%>	<20.3%>	<+ 0.4%>
販管費	87	88	- 1	91	+ 3
営業利益	42	46	+ 4	39	+ 7
経常利益	43	48	+ 5	40	+ 8
当期純利益	23	27	+ 4	21	+ 6

# サービス・顧客業種別の売上高(2005/09期実績)

(億円)

サービス/業種	2004/9期 (実績) A	2005/9期 (実績) B	対前年同期 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	280	281	+ 1	
産業・流通・サービス	137	156	+ 19	大手製造業向け大型開発案件
金融	85	71	- 14	メガバンク向け下期集中
社会公共他	58	54	- 4	
基盤ソリューション	125	110	- 15	ローエンド・プロダクト減少
ビジネスサービス	181	186	+ 5	新日鉄向けフルアウトソーシング増収
単独計	586	577	- 9	
子会社等	71	71	+ 0	
合計	657	648	- 9	

# 2005年9月中間期 連結営業利益分析



# 2006年3月期 連結業績見通し

(億円)

	2005/3期 (実績) A	2006/3期 (見通し) B	2006/3期 (前回公表値)	対前年 差異 B-A
売上高	1,465	1,500	1,500	+ 35
業務ソリューション	819	845	845	+ 26
基盤ソリューション	257	260	260	+ 3
ビジネスサービス	389	395	395	+ 6
売上総利益	295	305	305	+ 10
<売上総利益率>	<20.1%>	<20.3%>	<20.3%>	<+ 0.2%>
販管費	178	187	187	- 9
営業利益	117	118	118	+ 1
経常利益	118	120	120	+ 2
当期純利益	66	67	67	+ 1

# サービス・顧客業種別の売上高(2006/03期見通し)



NS Solutions

(億円)

サービス/業種	2005/3期 (実績) A	2006/3期 (見通し) B	2006/3期 (前回公表値)	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	706	725	725	+ 19	
産業・流通・サービス	328	355	355	+ 27	大手製造業向け拡大
金融	194	190	190	- 4	
社会公共他	184	180	180	- 4	
基盤ソリューション	232	235	235	+ 3	コンサル・エンジニアリング、 プロダクト保守を拡大
ビジネスサービス	381	390	390	+ 9	SLC-T・新規ソリューションにて拡大、新日鉄 向けは横ばい *
単独計	1,319	1,350	1,350	+ 31	
子会社等	146	150	150	+ 4	
合計	1,465	1,500	1,500	+ 35	

\* SLC-T: System Life-cycle Total Solution

# 2006年3月期 上下別連結業績見通し



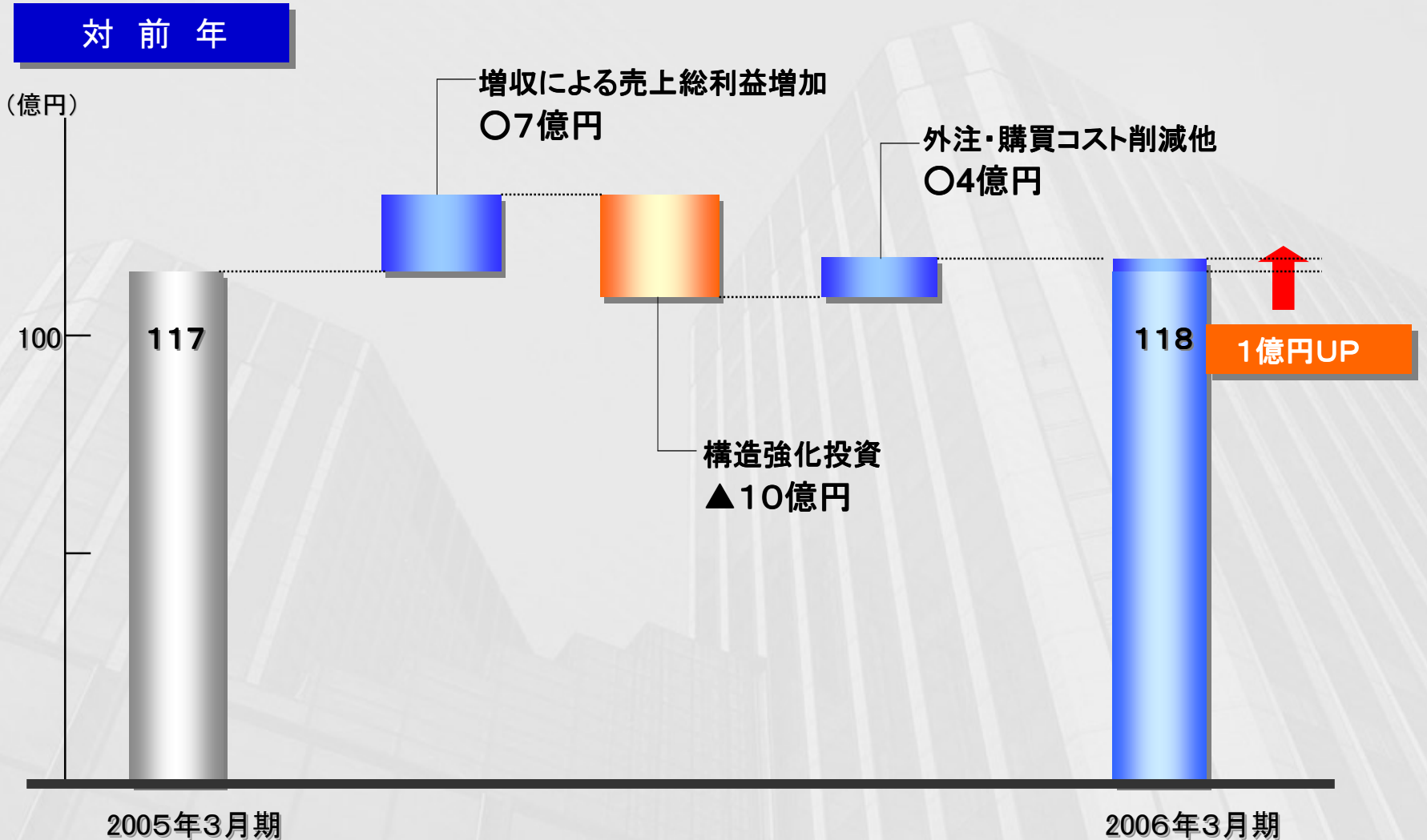
NS Solutions

(億円)

	2005/3期(実績)		2006/3期(見通し)		対前年差異	
	上期 A	下期 B	上期 C	下期 D	上期 C-A	下期 D-B
売上高	657	808	648	852	- 9	+ 44
業務ソリューション	334	485	336	509	+ 2	+ 24
基盤ソリューション	138	119	123	137	- 15	+ 18
ビジネスサービス	185	204	189	206	+ 4	+ 2
売上総利益	129	166	134	171	+ 5	+ 5
<売上総利益率>	<19.6%>	<20.5%>	<20.7%>	<20.1%>	<+ 1.1%>	<- 0.4%>
販管費	87	91	88	99	- 1	- 8
営業利益	42	75	46	72	+ 4	- 3
経常利益	43	75	48	72	+ 5	- 3
当期純利益	23	43	27	40	+ 4	- 3
期首受注残高	212	317	* 268	* 370	+ 56	+ 53

\* 受注把握方法の変更前

# 2006年3月期 連結営業利益分析





# サービス・顧客業種別の市場認識

サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
<b>業務ソリューション</b> 産業・流通・サービス 金融 公共	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きIT投資意欲は旺盛</li> <li>・スクラッチ開発増加</li> <li>・ERPは会計の需要回復</li> <li>・市場系・経営管理系・情報系(非勘定系)は市場回復の動き</li> <li>・新BIS規制対応の需要が堅調</li> <li>・政府の調達制度改革、競争入札増加</li> </ul>	↑ → →
<b>基盤ソリューション</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジニアリングと保守は引き続き堅調</li> <li>・2000年前後に導入したプロダクトの更新需要</li> </ul>	エンジニアリング ↑ プロダクト →
<b>ビジネスサービス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス事業、NSSLCサービス(株)は成長期待</li> <li>・新規サービスの立上げ</li> </ul>	↑

# 2006年3月期の主要施策



NS Solutions

## 2005年3月期までの施策

システム・ライフサイクル・  
トータルソリューションによる差別化

レガシーリエンジニアリングを  
テコとした顧客開拓

アカウント・リレーションシップ・  
マネジメント

低リスク低コスト開発力強化

パートナーの再編



## 2006年3月期の主要施策

1. 組織的システム開発技術力の強化

2. 近代的工場構想の推進

3. コンサル力の強化

4. 営業プロセスの確立

5. ARM・SLC-Tタスクフォース \*

6. 新規ソリューションの創出

7. NSSLCサービス(株)の立上げ・強化

構造強化投資約10億円

\* ARM:Account Relationship Management  
SLC-T:System Life-cycle Total Solution

概ね年初計画どおり進捗、上期3億円（年度10億円）



## 組織的システム開発技術力強化

- 開発標準整備
- 自製ツールの開発、適用拡大
- 開発標準・ツールの実プロへの適用・評価・改善

## 新規ソリューション創出

- システムトランスフォーメーション（SOAを活用したアーキテクチャ変換ほか \*）
- サービス事業（e-文書法対応、セキュリティ・ソリューション）
- パッケージ・ソリューション（販売・物流分野）

\* SOA: Service-Oriented Architecture

## 教育投資

- マネジメント集中研修（本体社員の約3割が対象）

## 社内ITインフラ整備

- 統合基盤システム整備、人事システム整備

～2005.03

## レガシーリエンジニアリング

- コンサルティング機能強化
- 新日鉄向けに蓄積したノウハウ活用

## サービス事業拡大

- プロセス・サービス・プロバイダ
- Oracle on Demand



構造強化投資により展開加速

## システムトランスフォーメーション

- (レガシーリエンジニアリング)
- SOAを活用したアーキテクチャ変換\*1
- 統合基盤、ネットワーク性能検証
- グリッドコンピューティング

## サービス事業拡大

- e-文書法対応等BPOメニュー拡大 \*2
- セキュリティ・ソリューション

## パッケージソリューション

- 販売・物流分野

\*1 SOA: Service-Oriented Architecture

\*2 BPO: Business Process Outsourcing

約20億円

売上増加

2005.3

2006.3

---

- **BCM(Business Continuity Management)推進室の設置** (10月1日付)

—— コンプライアンス、セキュリティ、災害リスク等への対応

- **新データセンター構想**

—— 拡大するサービス事業への対応

---

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



**NS Solutions**

<http://www.ns-sol.co.jp/>